

令和7年度 釧路川 水生生物による水質調査

令和7年度水生生物による水質調査は、標茶町立虹別中学校、釧路湿原川レンジャー・標茶町内の小学校の生徒により実施しました。

調査に先立ち、川での安全対策（水難防止）講習を行い、正しい救命胴衣の着用方法等について学びました。

すべての調査で釧路川の水質は4段階で最も上位の「きれいな水」と判定されました。

【実施概要】

○令和7年7月8日（火） 標茶町立虹別中学校（15名）

⇒ 調査場所：釧路川瀬文平橋上流（北海道川上郡標茶町）

○令和7年7月29日（火） 標茶町内の小学校（19名）・釧路湿原川レンジャー（19名）

⇒ 調査場所：釧路川瀬文平橋上流（北海道川上郡標茶町）



R7年度 水生生物調査・住民協働調査 結果とりまとめ

天候と気温

水生生物調査（虹別中学校）

場所：十文字樋門上流 日時：R7年7月8日(火)
9:05～11:00



調査時気温：31°C

住民協働調査（釧路湿原川レンジャー ・標茶町内の小学生）

場所：十文字樋門上流 日時：R7年7月29日(火)
10:00～11:30



調査時気温：22°C

川のようす(水温・流速など)

水生生物調査（虹別中学校）

- ・水温：21°C
- ・流速：57cm/s
- ・透視度：106cm

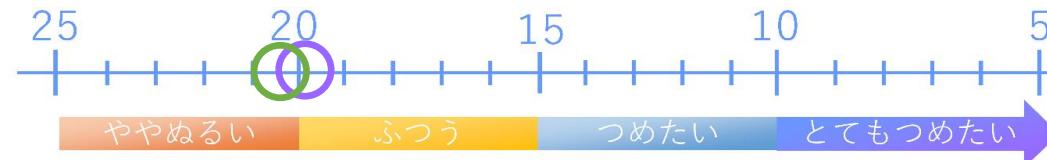
※計測値は平均
値を示す。

住民協働調査（釧路湿原川レンジャー ・標茶町内の小学生）

- ・水温：18°C
- ・流速：55cm/s
- ・透視度：108cm

※計測値は平均
値を示す。

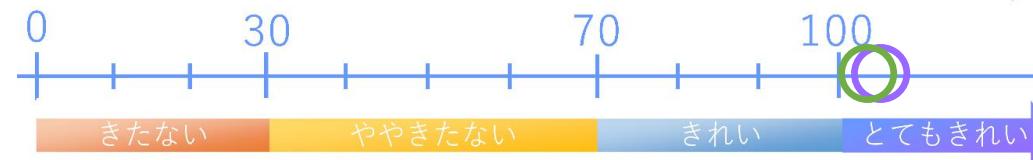
水温の目安



流速の目安



透視度の目安



凡例

○ :水生生物 ○ :住民協働

まとめ

- ・水温・流速は、おおむね「ふつう」の範囲内
- ・透視度は高く「とてもきれい」な水であった

川の簡易水質調査

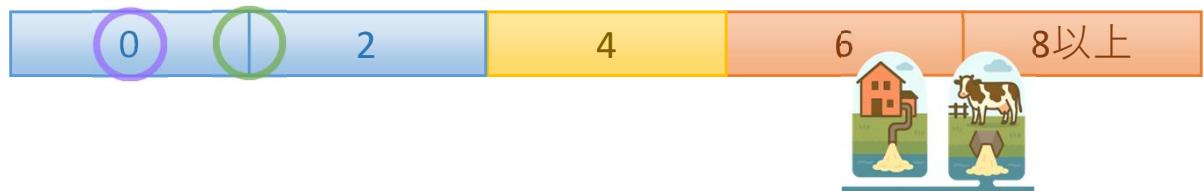
pH(水素イオン濃度)

水の酸性・中性・アルカリ性をしめす値



COD(化学的酸素要求量)

水中の有機物によるよごれの目安になるもの(mg/L)



DO(溶存酸素量)

水に溶けている酸素量(mg/L)



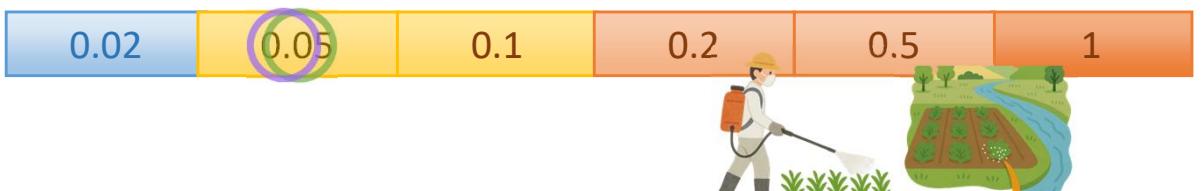
NH4-N(アンモニウム態窒素)

家畜の糞尿・肥料等に由来する窒素量(mg/L)



PO4-P(リン態リン)

生活排水・農薬・肥料等に由来するリンの量(mg/L)



水生生物調査

- pH : 8.0
- COD : 0.0mg/L
- DO : 9.7mg/L
- NH4-N : 0.2mg/L
- PO4-P : 0.04mg/L

住民協働調査

- pH : 7.2
- COD : 1.0mg/L
- DO : 9.5mg/L
- NH4-N : 0.2mg/L
- PO4-P : 0.05mg/L

※計測値は平均値を示す。

凡例

- : 水生生物
- : 住民協働

川の水の
きれい・きたないの
目安

- 大変きたない
- きたない
- 少しきたない
- きれい

まとめ

- すべての項目で、おおむね「きれい」の範囲内の値を示している。
- 川の水質がきれいに保たれている。

川の水生生物調査

きれいな水に生息する生物
(指標生物(※)：階級Ⅰ)



カワゲラ類



ヒラタカゲロウ類



ナガレトビケラ類



ヤマトビケラ類



ブユ類



ヨコエビ類

凡例

:水生生物

:住民協働

その他 今回調査で採取した水生生物
(指標生物(※)ではない)



上流～中流の
きれいな水
などを好む



シマトビケラ



マダラカゲロウ類



ガガンボ



モンカゲロウ



中流～下流の
多様な環境で生息



ウチダザリガニ

Info

※：指標生物とは？
水中に生息する生物の種類を調べることで、その川の水質を4段階（階級Ⅰ～Ⅳ）で判定するための指標となる生物のこと。

Notice

特定外来生物は生態系などに被害を及ぼすものに対し指定されるもの。法律（外来生物法）により飼育や生きたままの保管・運搬などが禁止されている。

Info

他の生物は、河川の広い範囲に生息して
おり、多様な水質環境で確認できるもの

人と河川の豊かなふれあいの確保（川の水との親しみやすさ）の調査結果

「人と河川の豊かなふれあい」の評価レベル一覧

ランク	説明	評価項目と評価レベル			
		ごみの量	透視度 (cm)	川底の感触	水のにおい
A	川の水が快適である	ごみは見当たら ない	100以上	快適である	不快ではない
B	川の水に不快感がな い	ごみは目に付く が我慢できる	70以上	不快感がない	
C	川の水が不快である	ごみがあつて不 快である	30以上	不快である	不快な臭いがする
D	川の水に魅力がなく、 近づきにくい	ごみがありとて も不快である	30未満		とても不快な臭いが する
評価		A	A	B～A	A



凡例



釧路川の水は… 「快適/不快感がない」

Info

『人と河川の豊かなふれあいの確保』とは？

- ・「[今後の河川（湖沼）水質管理の指標及び調査（案）【改訂版】](#)（令和6年8月・国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課）」に規定されている水質指標のひとつ。「[住民にわかりやすい水質指標](#)」などを目的として設定されている。
- ・「[川の水との親しみやすさ](#)」を評価するために評価項目・レベルが設定されている。

豊かな生態系の確保（生き物のすみやすさ）の調査結果

今回調査の結果（住民協働調査）

評価項目と評価レベル

DO (mg/L)	NH4-N (mg/L)	水生生物の生息
9.5	0.2	I きれいな水にすむ生物

Info

『豊かな生態系の確保』とは？

- 「[今後の河川（湖沼）水質管理の指標及び調査（案）【改訂版】](#)（令和6年8月・国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課）」に規定されている水質指標のひとつ。「[住民にわかりやすい水質指標](#)」などを目的として設定されている。
- 「[河川の生態系の豊かさ/生き物のすみやすさ](#)」を評価するために評価項目・レベルが設定されている。

「豊かな生態系の確保」の評価レベル一覧

ランク	説明	評価項目と評価レベル		
		DO (mg/L)	NH4-N (mg/L)	水生生物の生息
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7.0以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ など
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5.0以上	0.5以下	II. ややきれいな水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ など
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とはいえない	3.0以上	2.0以下	III. きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ など
D	生物の生息・生育・繁殖しにくい	3.0未満	2.0を超える	IV. とてもきたない水 ・ユスリカ類 ・チョウバエ類 など

凡例

調査箇所の評価は…ランク **A**

 :住民協働